



Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2022-23 No.14 令和5年3月3日

●会長標語 会長 関 和之 輪を広げ 未来につながる奉仕を

今週のプログラム

- 第2720回(3/3)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- *三祝 *100%表彰
- *イニシエーションスピーチ
北澤秀彦会員

次回のプログラム

- 第2721回(3/10)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話

仙田直人様(成蹊中学・高等学校校長)
「21世紀を担う教育とは」

会員卓話「事業転換」



田辺隆一郎会員

「繁栄」から「衰退」へ

私は35歳のときに父が起こした繊維の仕事からアルミサッシの仕事へと180度事業転換しました。父は、京都の人間で、親戚に当たる方が当時八王子で「産地糸商」という仕事をやっていましたので、そこを頼って昭和の初めにその会社に入り、修業をして、昭和8年に独立、「産地糸商」を始めました。今年で創業91年になります。

「産地糸商」とは、織物を織る機屋さんに原料である糸を売る商売ですが、つは卸の仕事(紡績会社が作った糸をそのまま機屋さんに売る)、もう一つは燃糸、(主に生糸を撚り合わせ本の糸として使えるようにする)という仕事で、製造・販売の両方をしていました。

昭和16年、太平洋戦争が始

まると、全て軍需に関わる仕事をするように、という国の命令で、私共も、府中にある東芝の下請けをする事になり、八王子の繊維そのものが中断するという形になりました。敗戦となりましたが、八王子の繊維産業は比較的早めに復興したと聞いております。

昭和25年に、朝鮮戦争が勃発し、この戦争により、日本経済は助かりました。特に繊維というのは、いろいろな資材物資の中でも必需品ということで日本の繊維産地には多くのオーダーが入り大変忙しくなり、景気は一気に上昇しました。これがガチャマンと言われた時代です。

昭和28年に朝鮮戦争が終わると、途端に景気が悪くなり昭和29年から31年頃にかけて、八王子の繊維業界は大不況になり、大きな問屋さんや、機屋さんが倒産をするという状況でした。そんな中、なんとかここから脱却したいと、八王子の機屋さんがいろいろ研究し100%ウールで呉服地をつくるという新製品を開発し、昭和30年代は八王子織物の黄金期ではなかったかと感じています。その当時、日本橋三越の3階の呉服売り場の正面には八王子織物が並んでいました。

しかし時代はどんどん変化

し、「呉服」から「洋装」ということから、実用和服を主に作っていた八王子は一気に需要がなくなり、昭和40年代に入ると、さらにジリ貧の状況になっていきました。

事業転換への決意、なぜ「アルミサッシ」なのか？

昭和46年の年が明けた時、八王子の織物はもうダメではないかと感じいろいろ考えて、宅地建物取引主任者の資格を取得、昭和47年に会社で不動産業の免許を取得しました。そして昭和48年に、第一次オイルショックがあり、それまでの原油価格が一気に5倍近く上がりどの業界も大変苦労をしました。八王子の織物も大きくダメージを受け「事業を転換しなければ」と決意し、父親にその旨を伝え決定し、お取引をされていたという金融機関と糸を仕入れている商社に基本的な考え方を説明すると同時に、事業転換をするその相手先について紹介をしていただくことをお願いしました。

当然のことながら、お取引いただいている機屋さんを含め関係先にも、こういう考え方でいることを申し上げ、事業転換の準備をスタートさせたのが昭和48年の終わり頃でした。

2023年2月10日(金)

取引銀行と商社から3件の紹介をいただき、その中から繊維と全く違うアルミサッシの仕事を選んだわけです。理由は、事業転換をするということでは、失敗すれば会社そのものが終わりになるというまさに正念場と考え、3件のうちの2件は、何らかの形で繊維に関係する仕事でありました。全く関係ないのがアルミサッシの仕事でした。なによりも私自身が土俵際に立つて後がないという気持ちでなければ、これはやり切れるものではないと考え180度違うアルミの仕事を選びました。その当時、いろいろな方が繊維をやって業態変更を図っていました。ほとんどが使っていた工場を貸すとか、皆さん広い敷地を所有されていたので、そこにマンションやアパートを建て賃貸業になるということでした。

私自身年齢がまだ30代前半でしたので、将来を考え実業で汗をかき努力をしなければということと、もう1つ大きなことは一緒に今まで繊維の仕事をしてくれた人達に辞めてもらうのではなくて一緒に新しい仕事をやっていくそんな強い思いでこの仕事に転換しました。

転換を決め、私自身も含め従業員には新しい仕事を研修させるということに時間を費や

しました。又、倉庫・工場も建てなければならぬ。繊維をやめる、ということについてもお得意先様にご理解はいただけました。が、相手先によってはそれ以後も材料を供給しなければならぬ状況でしたので結果として、繊維の仕事は3年続けることになりました。

昭和50年4月1日に新しい仕事が始まりました。全ての従業員はアルミサッシの仕事にかかっていたので、残った繊維の仕事は私一人で全て処理をしなければいけないという状況で、また不動産も一人で行っていました。繊維は利益が出ない、アルミサッシも始めたばかりで利益が出ないという中で、なんとか会社を維持できたのは副業とっていました。不動産の利益で何年か持ちこたえたという状況がありました。私自身、振り返ってみると、その当時、一人三役をこなしたのでよくこんな仕事をしたなと思っております。社員達も私のそういう姿を見ながら本当によくやってくれ、周りからも「田辺さんのところは夜11時前に電気が消えるってことはないですね。」と言われるくらい、お褒めなのお叱りなのかわかりませんが言われ、そんな状況が5年くらい続きました。

いかに新事業を軌道に載せるか

新しい業態に入るといふ時に何が一番必要かと言いますと「こへ行くんだ」というのはっきりした自分の意思と目標というものをしっかりと持って事業計画を立て、途中、いろいろ起る変化に対応しながら、思いや考え方は決して間違っていないと信じ、ぶれずに進んで行く覚悟が必要ではないかと思っております。それから大事なものは計画そのものを外部で見えていただき、常々チェックをしていただくということとです。私の場合は、商工中金の指導により、当時、東京都商工指導所という所がありまして、そこにいるいろいろなスタッフがおられ、当初の10年計画書を見ていただき、一年一年客観的な評価をいただきながら私共の事業転換をサポートしていただきました。このことは大変参考になったと思っております。もう一つ、私共が今までこれたのは当時、建設業界は待ちの体質でしたので繊維商社で培った攻めの営業を行い、当社の武器にしたこと、さらに設計から製造・最後の施工管理まで一貫した、小さなメーカーの機能を備え、お客様から「必要とされる会社」となるためのビジネスモデルが確立できたことだと思っております。

お蔭様で新事業は順調に伸びまして、12〜13年目ぐらいには、当時の繊維の仕事の8倍位の年商というところに来ることができました。もちろん企業ですから、その後のバブル崩壊やリーマンショックなど、いろんな苦労をしました。ただどんな歴史のある会社でも事業というものはそんなに順調に右肩上がりで行くものではないと思っております。

「事業転換」で学んだこと・得られたこと

事業転換で学んだことや、得られたこととしては①会社の業績はビジネスに費やす時間の量に比例するということです。本業に関わっている時間が長かったかそうでないかで、業績はしつかりあらわれるものだと思います。ゴルフの付き合ひ、業界のこと等いろいろなことに時間をを使うわけですが、やはり本業にかける時間の大切さは経営者として心がけなければなりません。②全く新しい仕事に転換したので、私自身も社員と同じようなかたちでその仕事を勉強しましたから、同じ目線で話し合う姿勢が身についたと思っております。そして③猛烈に仕事をしましたので、仕事をすること、仕事力はこの時に培われたと思っております。

最後に、山本五十六の言葉であります。「やってみせ 言つて聞かせて させてみせ 褒めてやらねば人は動かず」これは私自身、仕事やいろいろな立場で大変参考になりました。

例会報告

第2717回●2023・2・10(金)

- ◇司会 安田新会場監督補佐
- ◇開会点鐘 関 和之会長
- ◇Rソング 我らの生業
- ◇お客様の紹介 和田雅英様・米山奨学生 エルコリー・ハディールさん
- ◇食事と交歓 洋食
- ◇出席報告 宮澤徳光 出席委員 会員106名中55名出席。出席率55・56%。前々回1月27日の出席率70・41%を78・57%に修正します。
- ◇ニコニコ発表

- 山本正光 財務委員
- ◇会長挨拶 関 和之会長
- *皆さま本日は雪の中お越しいただきましてどうもありがとうございます。帰りもどうぞお気を付けてください。
- *先日の諮問委員会時に、馬場パスト会長より最近の特殊詐欺や強盗の被害にあつていらっしゃる方が名簿によつて狙われた可能性が高いのでクラブの名簿についても取り扱ひに注意が必要とお話がありました。毎年年作成していて便利ですが、古い名簿はシュレッダーにかけるなど処分の際には充分お気を付けただければと思います。
- *本日は田辺パスト会長に無理を言ひまして卓話をお願いいたしました。たなべ物産さんは100年近く続いている企業

です。新しいことに舵を切るには相当な勇氣と知恵と努力が必要だったことと思ひます。事業転換についてのお話を楽しみにしております。

- ◇幹事報告 榊田義久幹事 *5/20(土)第21回ロータリー全国囲碁大会のご案内が地区より届きました。参加ご希望の方は事務局までご連絡をお願いいたします。
- *タイ王国ノンケームRCより友好クラブ締結の依頼があり、理事会にて締結に向けて協議をすることを決議いたしましたので、詳細が決まりましたらご報告いたします。
- *メールボックスにウィークリー13号を配付いたしましたのでご確認をお願いいたします。
- ◇会員増強賞贈呈 檜崎博会員・鳥羽正浩会員 久保英生会員・門倉裕会員
- ◇奨学金贈呈と近況報告 米山奨学生 エルコリー・ハディールさん



エルコリー・ハディールさん

- ◇スピーカー紹介 町田修一プログラム委員長 スピーカー 田辺隆一郎会員 テーマ「事業転換」
- ◇委員会報告 立花探 親睦・家族委員長
- ◇閉会点鐘 関 和之会長

日本銀行甲府支店 支店長
水野裕央氏

はじめに

こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました日本銀行甲府支店長の水野です。本日は、東京八王子西ロータリークラブの例会にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。普段は甲府ロータリークラブに所属しておりますが、こちらの会員の町田商店の町田修一さんと学生時代にご一緒だったご縁もあって本日來させて頂きました。ご縁というのは大切で、皆様ご存じのとおり、八王子は山梨と浅からぬ関係にございます。今、NHKの大河ドラマで徳川家康が主人公になっておりますが、家康が八王子を統治した際、治安維持を目的に、召し抱えた甲斐の武田家の家臣を八王子に移したというところが八王子千人同心の起源

と言われております。また、上野原市や大月市から八王子に出勤されている方も多く聞きます。そのようなご縁を大切にしながら、本日は短い時間ではありますが、山梨県経済についてご説明させて頂きます。

1 山梨県の特徴

山梨県の稼ぎともいえます県内総生産は日本の約1%程度になります。人口は、1999年の89万人台をピークに、2021年には80万人台に減少しています。65歳以上の人口の割合は約30%と全国平均に比べ若干高めになっています。また、県内総生産を基に山梨県の産業構造を全国と比較しますと、製造業を中心に第2次産業の構成比が高いです。第1次産業の割合も、農業を中心に全国を上回っています。一方、第3次産業の割合は、全国を下回っています。製造業については、製造品の出荷額をみますと、山梨県で上位を占めるのは、半導体製造装置やロボットなどが含まれる「生産用機械」、スライチなどの「電子部品・デバイス」、お菓子などが含まれる「食料品」、ミネラルウォーター

ターやワイン等が含まれる「飲料」、電子計算機等が含まれる「情報通信機械」などです。また、全国と比べて構成割合が高いのは「生産用機械」、「電子部品・デバイス」で、一方、自動車や自動車部品などの「輸送機械」、「化学」の構成割合が低いという特徴があります。電子部品・デバイスなどの割合が高いというのは、八王子でも精密機械の割合が高いと聞いておりますので、親和性が高いという印象をもっております。品目別出荷額でも、いくつか全国1位の品目があります。数値制御ロボット、ミネラルウォーターだけでなく、ワインが含まれる果実酒、ジュエリーが含まれる「貴金属製装身具」、いわゆる宝飾などの地場産業の品目もあります。

非製造業のうち、観光については、富士山や八ヶ岳などの山々や富士五湖といった豊かな自然、温泉地、ぶどうや桃などの果樹園、武田信玄公ゆかりの文化財等が県内全域に存在し、観光資源に恵まれています。伝統産業として3つほどご紹介しますと、まずワインです。日本のワインの発祥地と言われる山梨県には約90か所のワイナリーが存在し、国内生産量の約3割を占めます。2019年8月に現知事が山梨「ワイン県」宣言を発表し、日本一のワインの産地であることをアピールすること、山梨県産ワインのブランドイメージ確立や国内消費拡大に向けて様々な取り組みが進められています。次に、甲州印伝です。鹿革に漆で模様を付けた皮製品であり、昭和62年から国の伝統的工芸品に指定されています。最後に、郡内織物です。山梨県では、独特の光沢と風合いをもつ絹織物「甲斐絹(かいき)」が1940年代まで生産されてきました。現在は、富士吉田市や都留市等の郡内地域を中心に、甲斐絹の伝統技術を継承した「郡内織物」が生産されています。昔は、シルクロードと言われ、山梨県の絹織物は、八王子を経由して横浜港へ送られたと聞いております。今も織物を大切に行っている点では八王子と同じであります。

山梨県には、様々な可能性を秘めておりますが、いくつかご紹介しますと、1つ目は、山梨県は、①日照時間が長い、②昼夜の寒暖差が大きい、③降水量が少ない、といった気候を活かした果樹栽培が盛んです。特に、ぶどう、桃、すももの収穫量は全国第1位であります。最近では、シェアインマスカットが人気で輸出拡大に努めています。八王子の駅の改札を出た場所、山梨県の物産展をしばしば開催して頂いていると聞いております。2つ目は、水素・燃料電池分野です。山梨県には、山梨大学をはじめ高度な研究機関が集積しておりますが、最近では太陽光と水から水素を製造するP2Gシステムの実用化・普及に取り組んでおります。3つ目は、中部横断自動車道やリニア中央新幹線の整備により、対象市場や誘客の拡大などが期待されます。4つ目は、コロナ禍で東京に近く自然豊かな立地が見直され、移住・二拠点居住を通じて、人口の社会増減にも、長い間の転出超から若干の転入超へ変化が生じています。交通の要所である八王子とともに発展できればと願っております。

2 山梨県経済の現状

山梨県経済の現状についてみていきたいと思います。現時点の山梨県内の景気は、「感染症抑制と経済活動の両

立が進むもどで、資源高の影響などを受けつつも、基調としては持ち直している」と判断しています。

まず、個人消費ですが、マインナス要因、プラス要因それぞれありますが、現時点ではプラス要因が上回っており、「資源高などによる下押し圧力を受けつつも、持ち直している」とみています。

具体的に、マインナス要因については、光熱費が上昇する中、食料品などの値上げに伴い、スーパーを中心に消費者の節約志向が見られます。ただ、食料品などの値上げは、家計にとっては非常に辛いことではあります。生活必需品のため、工夫をしつつ購入せざるを得ない面があります。また、企業側もプライベートブランドへシフトするなど工夫により消費者の購買意欲の低下を回避しようと努めています。

一方、プラス面については、これまで抑制されていた旅行、外出などの経済活動の再開が継続しているほか、10月中旬の全国旅行支援や入国制限の緩和の好影響も受けています。また、行動制限下で積みあがった貯蓄や、政府によるガソリン補助金なども支えられています。

次に、設備投資については、12月短観の2022年度設備投資計画が、3か月前の調査

から▲2・5%と小幅に下方修正されましたが、前年度比+12・5%と高い伸びが維持されていることが確認でき、「製造業を中心に増加している」と評価されています。製造業では、納期の遅れによるスケジュール遅延はみられているものの、能力増強、生産性向上投資を背景に力強い状況は続いており、非製造業においても、宿泊などで高付加価値化の投資がみられ始めています。

生産については、生産水準は、供給制約の影響が和らぎつつあるもどで、全体としてみると、豊富な受注残を背景に高水準を維持しています。しかしながら、スマートフォンの在庫調整や海外経済の減速を背景とした受注の減少が生産に影響を与える動きも一部業種や企業（生産用機械、電子部品・デバイス）で見られはじめています。このため、「高水準ながらも、一部で弱めの動きがみられている」とみています。

雇用は、生産が高水準の製造業に加え、経済活動の活性化を受けて、非製造業の求人意欲が強く、最低賃金の引上げも含めて、非正規社員の時給も上昇傾向にあるという声も多く聞かれています。冬のボーナスの支給状況も改善しているという一部の調査もあります。労働需給、雇用者所

得とも、全体として緩やかに改善しています。

この間、倒産は、金融機関による資金繰り支援や雇用調整助成金などの各種支援措置により、現時点では、抑制されています。雇用調整助成金の特例措置は経過措置へ移行し、2023年度入り後、コロナ対応融資の返済が本格化する見通しの中、資源高などを受け、中小企業や小規模企業は価格転嫁も難しいため、先行きについては留意が必要と見られます。金融機関は、資金繰り支援だけでなく、取引先の販路拡大のサポートや業態転換へのサポート、事業再構築補助金活用などのサポートなど、各種の事業再生支援に尽力しており、山梨県においても、2022年3月の新型コロナウイルス感染症関連借換融資に続き、2023年1月に「新型コロナウイルス・物価高騰対応経営再生融資」も創設されており、そうしたものが奏功し、先行きの倒産の抑制に繋がることを期待しています。

3 山梨県経済の先行きの見通し

先行きの経済については、「資源高や海外経済減速による下押し圧力を受けるものの、感染症や供給制約の影響が和らぐもどで回復していくとみられる」とみていますが、海外経済・物価動向、今後の

ウクライナ情勢の展開や資源価格の動向、為替の動向、内外の感染症の動向、供給制約の影響、人手不足など、不確実性はきわめて高く、下振れリスクがあります。

このうち、資源高やドル高・円安を背景とした輸入物価を通じた物価高について経緯を辿ってみます。大きく3つの要素が重なりあつて生じてきました。初期は、コロナ禍からの中国や米国をはじめとする世界的な経済活動の再開が進み、需要が大きく拡大する中で、カーボンニュートラルを背景とした化石燃料関連の設備投資の減少などの供給要因も意識され、資源価格が上昇しました。次に、2022年2月にロシアがウクライナに侵攻すると、両国とも資源国であるため、国際的な資源・穀物価格が上昇しました。この時点で契約通貨ベースの資源・穀物価格はかなり上昇しているわけですが、さらに、米国のFRBが利上げ開始以降、資源高に伴う需給要因に加えて日米金利差に市場参加者の注目が集まり、ドル高（円安）が進行しており、既往の資源高と併せて輸入物価の上昇となっています。

資源や穀物を輸入に依存している日本経済としては、輸入物価の上昇によって、企業収益、消費への下押し要因として働いているということに



なりません。

その後は、米国などの主要国の利上げや（既に解除されていますが）中国のゼロコロナ政策などにより海外経済の減速傾向が見られ始め、その結果、資源・穀物価格は下落に転じました。2022年11月に、米国の経済指標が米国の利上げペース鈍化を窺わせる内容となつて以降、ドル高も巻き戻されてきており、輸入物価は一頃に比べると上昇率は低下していますが、高止まりしています。ウクライナ情勢だけは何一つ変化していないので高止まりの大きな要素となつていきます。ご清聴ありがとうございます。

例会報告

第2718回・2023.2.17(金)

◆司会 橋本孝 会場監督補佐



司会
橋本孝 会場監督補佐

◆開会点鐘 神辺和幸副会長

◆Rソング
それぞろロータリー

◆お客様のご紹介
日本銀行甲府支店支店長

水野裕央様

◆食事と交歓 和食

◆出席報告
岡本信之出席委員長



出席報告
岡本出席委員長

◆三三〇発表
西川誠治財務委員



三三〇発表
西川財務委員

◆会長挨拶 神辺和幸副会長



会長挨拶
神辺副会長

*今三三〇発表でもございましたが、本日開会会長は仕事のご都合によりご欠席です。代理でご挨拶をさせていただきます。通常会長になる前の練習は1回かと思いますが、本日で2回目の練習になります。

*バレンタインデーのチョコレートですが、家族以外では塚本パスト会長の奥様からのみいただきました。

*その2/14には平沼会員の結婚式と披露宴が盛大且つにぎやかに行われました。ご職業の関係か、結婚式はご住職が鉦を鳴らしながら入場する間、参加者が合掌してお迎えする形の仏式でした。動画撮影は禁止して、披露宴では瀬沼会員が司会をされてかなり盛り上がりました。まだ披露宴がお済みでない方は、もし機会があれば司会には瀬沼会員をよろしくお願ひいたします。

*期間限定で上映の3Dリマスター版タイタニックを先日一人で観に行ってみました。一人で映画に行ったのは5年前の「ボヘミアン・ラプソディー」以来になります。1998年に上映した作品で、111年前に船が氷山に衝突して沈没したノンフィクションの部分と、画家を目指す青年と大富豪の娘さんが恋に落ちる物語です。3D用の眼鏡をかけて鑑賞しましたが立体感

は今一つわかりませんでした。まだ観てない方は、25年前とストーリーは全く同じです。ビデオでご覧いただければと思います。

*来週2/20と21には地区大会がございます。昨年の三浦ガバナー年度は当クラブはホストクラブとして大変多くのお客様をお迎えして開催することができました。今回は東京品川RCさんがホストです。どうぞ大勢の皆さまにご参加いただきたいと思います。

◆幹事報告 榊田義久幹事



幹事報告
榊田義久幹事

*昨日、持ち回り理事会により、トルコ・シリア大地震被災支援金に予納金より一人当たり1000円を支出することが決定いたしました。

*2/24(金)は地区大会に振替の為通常例会はございません。地区大会は全員登録なので当クラブ会員はメイクアップの必要はございません。他クラブの会員様用にメイクアップ用紙を用意いたします。

*2/21(火)の地区大会タイムスケジュールを全会員にメール及びFAXにて配信いたしました。直行の方には駐車場システムのご案内を、バスご利用の方には9:30ではなく

10:30出発のご案内を配信しております。直行やバスで申し込んだにもかかわらずそのご案内が届いていない方は事務局までご連絡をお願いいたします。

*4/22(土)〜23(日)にオリンピックセンターにて開催のインターナショナルライラのご案内をテーブルに配布いたしました。参加をご希望の方は事務局までご連絡をお願いいたします。

◆米山特別寄付感謝状贈呈
原 巖 秋間勝仁 会員

◆委員会報告
立花 探親睦・家族委員長

町田修一 プログラム委員長

◆スピーカー紹介
町田修一 プログラム委員長

◆スピーカー 日本銀行甲府支店支店長 水野裕央氏

◆閉会点鐘 神辺和幸副会長

◆閉会点鐘 神辺和幸副会長

三三〇ボックス

2023.2.10(金)

◆関会長・田辺パスト会長の卓話、楽しみにしています。

◆三浦・田辺パスト会長の卓話、楽しみにしております。

◆安田・田辺パスト会長の「事業転換」楽しみに拝聴いたします。

◆大石和春・田辺パスト会長、卓話楽しみです。

◆榊崎・田辺会員の卓話楽しみです。

◆田辺・卓話をいたします。

◆塚本・田辺会員の卓話楽しみにしています！

◆坂本・結婚記念日

◆野口・田辺会員の卓話楽しみにしています。

◆山口・田辺パスト会長の卓話を楽しみにしています。

◆町田・田辺さんの卓話楽しみです。先日は結婚記念日のお花ありがとうございました。

◆関会長・本日は、東京都の設備投資支援事業の二次審査(面接審査)に行きますので、申し訳ありませんが例会を欠席いたします。

◆神辺・日本銀行甲府支店水野支店長の卓話よろしくお願ひ致します。また、本日は会長の代理としてご挨拶をさせていただきます。

◆水野裕央(日本銀行甲府支店支店長)・日銀甲府支店長の水野です。本日は宜しくお願ひします。

◆西川・来週の地区大会と我社の未来メッセでのイベントが重なってしまい欠席させていただきます。

◆原巖・米山ありがとうございます。

◆原啓一郎・妻の誕生祝いを頂いたので。

◆町田・水野様、本日の卓話よろしくお願ひします。

(順不同・会員敬称略)



2月20日・21日グランドプリンスホテル新高輪にて国際ロータリー第2750地区・地区大会が開催されました。主な大会プログラムは次の通りです。

- ◇ 2月20日 (月)
 - ◇ PBGランチミーティング
 - ◇ 第3650地区 (韓国・第3481地区 (台湾) 歓迎昼食会)
 - ◇ PBG補助金セミナー
 - ◇ 各種委員会
 - ◇ RI会長代理(三)夫妻歓迎晚餐会
 - ◇ 2月21日 (火)
 - ◇ 第2回クラブ会長幹事会
 - ◇ 本会議
 - ◇ 開会点鐘
 - ◇ RI会長代理紹介
 - ◇ 来賓紹介
 - ◇ 姉妹地区紹介
 - ◇ ガバナー挨拶並びに第2750地区現況報告
 - ◇ RI会長代理挨拶並びにRIの現況報告
 - ◇ 姉妹地区ガバナー挨拶
 - ◇ 各種委員会報告
 - ◇ PBG活動紹介
 - ◇ ロータリーファミリー活動紹介
 - ◇ ローターアクト活動紹介
 - ◇ 表彰
 - ◇ 参加クラブ紹介
 - ◇ 記念講演 (原晋氏)
 - ◇ 特別公演 (歌舞伎 石橋)
 - ◇ 閉会点鐘
 - ◇ 懇親会



東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F
 TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753
<https://www.hachioji-west-rc.org>

会長 関 和之 幹事 榎田義久 広報委員会 浅川立憲 原 巖 原啓一郎 末木 博 諸星宗幸 小林潔正 船江栄次



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org